

【AIO×コマーс】リデル、AIの回答・比較・画像・購入導線に対応する商品データ整備「コマーс対応AIO」を提供開始

TikTok・ChatGPT・GoogleでAIコマーсが広がるなか、「AIに引用される」から「AIに選ばれ、買われる」へ。AIが参照する価格・仕様・画像・比較の根拠・販売先を整備

SNS・インフルエンサーマーケティングを中核に、ファン・コミュニティとAIを掛け合わせた「人を基軸としたマーケティング事業」を展開するLIDDELL株式会社（本社：東京都港区、代表取締役CEO：福田晃一、以下リデル）は、2026年 10月 21日（水）より、AIO（AI最適化）支援サービスを、コマーсに対応したサービスとしてバージョンアップし提供開始いたします。

2025年 7月から、生成AIに引用されやすい文章コンテンツをつくるAIEO支援サービスとして提供を始めておりました。今回、支援の対象を文章から、商品・サービスの情報全体に広がります。AIの回答画面に出る比較表、商品候補、画像、購入先リンクのそれぞれで自社の情報が正しく使われるよう、価格・仕様・画像・比較の根拠・販売先のデータを整備します。

AIO × COMMERCE

AIに選ばれ、 買われる時代へ。

コマーс対応AIO **提供開始**

回答・比較・画像・購入導線まで、商品情報を整備

LIDDELL

The graphic illustrates the AIO x COMMERCE service. It features several overlapping cards: a '商品情報' (Product Information) card with a checklist for Price, Specifications, Images, and Sales Channels; an 'おすすめ' (Recommendation) card showing a perfume bottle; a '商品比較' (Product Comparison) card comparing two products; and a '購入先へ' (To Purchase) button. The background is a light green with a plant illustration.

■ 背景 | AIが商品を比べ、広告を出し、購入まで案内しはじめています

TikTokは 2026年 5月の「TikTok World」で、「TikTok Ads MCPサーバー」を発表しました。AIエージェントが広告キャンペーンを企画・出稿・最適化できるようにする仕組みです。さらに 10月 5日（米国時間）には、次の2つの機能を発表しています。会話しながら商品探しから購入手続きまで案内するAIエージェント「Shopping Assistant」と、フィードから外部サイトに移らずに購入できる「Buy Direct

」です。TikTok for Business Japanは、この2つの国内提供を 2027年ごろに予定していると公表しています。

同じ動きはほかの媒体でも進んでいます。OpenAIは 2026年 8月、日本でChatGPT広告の提供を始めると発表しました。Googleも 2026年 1月、AI ModeやGeminiでの商品発見に対応するため、商品データの属性を追加しています。

消費者が商品を調べる場所は、検索結果の一覧から、AIとの会話のなかへ移りつつあります。

そこでAIが材料にするのは、記事の文章だけではありません。価格・仕様・在庫・画像・販売先といった商品データそのものを使います。項目が欠けていたり、公式サイトとECモールで価格が食い違っていたりすると、比較の候補から外れたり、誤った情報のまま紹介されたりするおそれがあります。

■ サービス概要 | AIEO・LLMO・GEO・AEOに、コマースの視点を加えて支援

AIへの最適化は、AIEO、LLMO、GEO、AEOなど呼び方が分かれています。ただ、ほとんどは「AIの回答に文章として引用されること」を目標にしたものです。当社のサービスはこれらをまとめて「AIO」として扱い、文章の引用に加えて、比較・画像・購入導線に自社の商品やサービスが正しく採用されるための情報整備まで支援します。

① AIブランド診断(2週間～)

まず、優先する商材と、顧客がAIに投げそうな質問を決めます。そのうえでChatGPTやGoogleのAI検索などの画面で実際の表示を確認し、比較項目の過不足、情報の誤り、画像、リンク先、競合との差を洗い出します。最後に、整備の優先順位と90日間の改善計画を提出します。標準は1ブランドにつき、重点商材5件、質問20件、対象環境2種類です。

② 商品情報の整備(4～6週間)

商品名、カテゴリ、価格と条件、仕様、対象者、利用場面、比較軸、画像と使用权、販売先URL、在庫・更新日時を「商品情報台帳」に整理します。比較に使う主張には出典と根拠を残し、公式サイト・EC・商品フィードの間の不一致を修正します。商品フィードや構造化データについては、媒体の仕様に合わせた設計書を作成します。実装は、CMS・ECの管理権限と技術条件を確認したうえで、貴社の開発担当者と連携して進めます。対応する媒体は、Google Merchant Centerなど日本で利用できるものから順に広げます。BtoBやサービス商材の場合は、料金条件、導入要件、事例、問い合わせ導線を中心に整備します。

③ 月次の改善運用

毎月、情報の更新、固定した質問群での表示の再確認、改善提案を行います。AIの回答は日時や条件によって変わるため、地域・日時・質問・実行回数を記録します。1回表示されただけで効果があったとは判断しません。

■ 成果の確認 | 「表示されたか」だけで評価しません

毎月報告するのは、運用で管理できる指標です。必須項目の充足率、情報の不一致件数、更新の遅れ、画像やリンクの不備件数を見ます。結果の指標としては、固定した質問群でブランドが言及された割合、比較候補に入った割合、画像やリンクが表示された割合を確認します。あわせて、計測できる範囲でAI経由の流入とCVも確認します。

■ リデルが手がける理由 | **SNSとAI**の両方で、商品の「伝わり方」を熟知

リデルは 12年にわたり、国内最大級 50,000人のインフルエンサーネットワークと累計 7,000社の支援を通じて、商品がSNS上でどう紹介され、どう比べられ、どう選ばれるかに取り組んできました。2025年 7月からは、AIX for Contentsで生成AIに引用されるコンテンツづくりを支援しています。また、観光分野では、AIの回答に含まれる地名の取り違えなど、誤った情報を計測・報告してきました。こうした経験から、SNSでの見え方とAIでの見え方を、ひとつの窓口でまとめて確認・改善できます。

■ 提供概要

サービス名	コマース対応AIO		
対象	EC、ブランド、マーケティング、コンテンツの担当部門		
提供開始日	2026年 10月 21日(水)		
提供内容 / 料金	AIブランド診断 / 10万円(税別)	商品情報の整備(商品フィード・構造化データの設計を含む) / 個別見積もり	月次の改善運用 / 月額 20万円(税込)～
備考	※AIによる引用、比較候補への掲載、画像の表示、購入先への掲載を保証するものではありません。提供範囲は、対象の媒体・機能・地域・技術条件に応じて決めます。広告の出稿・運用、媒体費、撮影費、大規模なサイト改修は含みません。		

ご興味のある方は、お気軽にご相談ください。

お問合せ・お申込みはこちら ▶ <https://influfect.com/news/8849/>】

■ 代表コメント | **LIDDELL株式会社** 代表取締役**CEO** 福田 晃一

「AEO対策という、SEOのように記事をAIに引用されやすく書き直すことだと考えられがちです。AIが商品を比べ、購入まで案内するようになると、それだけでは足りません。価格は正しいか、画像は使えるか、比較の根拠を示せるか、どこで買えるか。AIは、公開されているこうした情報をそのまま材料にして、消費者に答えます。

私たちは12年間、SNS上で商品がどう語られ、どう選ばれるかに向き合ってきました。インフルエンサーの投稿で魅力が伝わっても、リンク先の情報が古ければ購入にはつながりません。AIでも同じことが起きます。魅力を伝える表現と正確な商品データがそろったときに、初めて選ばれる候補に入ります。

当サービスでは、まず自社の商品がAIの画面でどう見えているかを一緒に確かめるところから始めます。目標は、担当者の方が自分たちで情報を更新し、確認し続けられる状態をつくることです。」

■ 今後の展望 | AI上で商品が見つかり、比べられ、購入されるまでを支援

TikTokのShopping Assistantなど、国内で新しく提供されるAIコマース機能にも、仕様が公開されたものから順に対応していきます。AI上で商品が見つかり、比べられ、購入されるまでの流れを、データ整備と運用の両面から支援してまいります。

リデルはこれからも「個人の影響力を、人々の未来のために。」というミッションのもと、テクノロジーを駆使して人の可能性を最大限に引き出し、企業課題の解決に取り組んでまいります。

■ 会社概要

会社名: LIDDELL株式会社(リデル)

所在地: 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー12F

代表者: 代表取締役CEO 福田 晃一

設立: 2014年 10月

事業内容: SNS・インフルエンサーマーケティング支援、運用型SNS・インフルエンサー広告プラットフォーム「INFLUFECTION」の提供、ファンコミュニティ構築支援「COMMUDA」、AI・人的資本クラウドサービスの提供

ミッション: 個人の影響力を、人々の未来のために。

【本件に関する報道関係のお問合せ】

リデルでは本プレスリリースの内容のほか、「SNSナレッジAI」「AIエージェント」「業務自動化」「SNS・インフルエンサー」「ファン・コミュニティ」「AIプロダクト」など、マーケティング関連の市場動向・トレンド・ナレッジ・各種データを共有するとともに、取材にも積極的に対応いたします。当社役員・専門スタッフへの取材も承っております。お気軽にお問い合わせください。

リデル株式会社 担当: 鈴木
メール: pr@liddell.tokyo
電話: 03-6432-9806

[企業情報]

リデル株式会社 / LIDDELL Inc.
: <https://liddell.tokyo/>

リデルSNSナレッジAI(デモ)
: <https://liddell-sns-knowledge-demo.vercel.app/>

[INFLUFECT / インフルフェクト]
"自動運用型" SNS・インフルエンサーマーケティングプラットフォーム
: <https://influfect.com/>

[One-Talk Site / ワン・トークサイト] 1回話だけの、AIホームページ制作
: <https://ots.influfect.com/>